

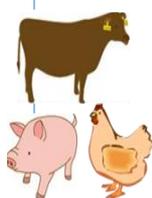
## 抗菌剤の使用は慎重に！

家畜への抗菌剤の使い過ぎにより薬剤耐性菌（抗菌剤が効かない細菌）が増加し、家畜や人の治療が困難になることが懸念されています。

薬剤耐性菌を増やさないために、飼養衛生管理基準の遵守やワクチンの使用により、感染症を予防し、抗菌剤の使用を減らしましょう。そのためには、特に次のポイントに取り組みましょう。



**1. 感染症を予防する**  
飼養衛生管理水準の向上により、感染症予防をしましょう。



**2. 家畜の状態を的確に把握する**  
家畜の異変に素早く気づけるように、毎日、飼育する家畜の健康観察を行い、家畜の状態を的確に把握しましょう。



**3. 獣医師に伝える**  
獣医師が的確に状況を把握し、適切に診断できるよう、発病後の経過、措置の状況、過去の感染症の発生状況等の情報を獣医師に伝えましょう。



**4. 抗菌剤を正しく使用する**  
抗菌剤は獣医師からの指示に基づき、用法・用量、使用禁止期間等を守って正しく使用しましょう。

毎年、11月は国を挙げての薬剤耐性対策推進月間です。  
抗菌剤の慎重な使用をこころがけ、消費者の信頼に応えましょう。

## 飼料添加物2成分の使用が禁止となります

薬剤耐性対策の一環で、コリスチンとバージニアマイシンについて、飼料添加物としての指定が取り消され、来年度中に飼料添加物としての使用はできなくなる予定です。

☆家畜に異常が認められた場合は、速やかに、かかりつけの獣医師又は最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。